

平成 22 年度 厚生労働省「障害者総合福祉推進事業」 研修会

思春期のメンタルヘルス

精神疾患の早期発見・早期支援は、21 世紀の精神保健福祉における中心課題のひとつです。疾患の早期発見・早期支援により慢性の経過を予防し、良好な社会的予後をもたらすといわれています。

社会福祉法人巣立ち会では、日本において早期支援の実践に取り組まれている西田淳志氏を講師にお招きして、先駆的な地域での活動を紹介していただき、早期発見・早期支援に必要な取り組みを学びたいと思います。

皆様のお越しをお待ちしております。

開催日時 平成 22 年 12 月 13 日（月） 18：30～20：30

会場 三鷹産業プラザ 701・702 会議室

*会場への直接のお問い合わせはご遠慮下さい

講師 西田淳志氏（東京都精神医学総合研究所研究員）

参加定員 100 名（先着順）

参加費用 無料です

参加申込 不要です

当日、直接会場までお越し下さい

問い合わせ先

社会福祉法人巣立ち会巣立ち工房
（担当・勝又）

T e l, F A X 0 4 2 2 - 3 3 - 5 3 1 6



～講師ご紹介～

東京都精神医学総合研究所統合失調症研究チーム研究員（医学博士）
統合失調症をはじめとする精神疾患の予防、早期支援に関する臨床システム、政策に関する研究に取り組んでいる。特に、思春期・青年期の若者の精神的不調の早期発見、早期支援における学校精神保健の役割やその重要性について関心を持ち、研究や実践を行っている。

現在、三重県、長崎県、東京都などにおいて、学校・地域・精神科医療機関が連携した早期支援システムの在り方について検討を行っている。